

●第25回通常総会開催のお知らせ

定款第26条の定めにより、平成8年度通常総会を下記の要領で開催しますので、会員各位の出席をお願いいたします

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
会長 村井 勉

日 時：4月19日(金) 15:00~17:00

会 場：学士会分館会議室(文京区本郷7-3-1
東京大学赤門隣) Tel.03(3814)5541

- 総会次第：1.平成7年度事業報告並びに決算報告の件
2.平成8年度事業計画並びに予算の件
3.平成8年度、9年度役員選任の件
4.平成8年度、9年度評議員選任の件
5.学会賞の発表と表彰
6.新フェロー紹介

注1：定款第31条により総会の定足数が会員現在数の1/3を必要としますので、ご欠席の方は委任状を4月15日までに送付くださるようお願いいたします(3月中旬発送)。

注2：総会終了後同所において懇親会を行ないますので、ご参加ください(会費6,000円)。

●第35回シンポジウム

日 時：5月14日(火) 13:00~17:00

場 所：小樽商科大学(小樽市緑3-5-21)

実行委員長：勅使河原可海(創価大学)

オーガナイザー：川島幸之助(NTT)

テーマ：「マルチメディアとその活用」

プログラム：

「マルチメディア活用マーケットの現状と今後への期待」
甲斐荘泰生(さくら総合研究所)

「自治体とネットワーク」
松井啓之(東京工業大学)

「インターネットの教育への利用」
渡部和雄(静岡県立大学)

「マルチメディア時代に向けた情報通信ネットワーク」
岸本登美夫(NTTエレクトロニクステクノロジー)

「放送をめぐるマルチメディアの動向」
榎並和雅(NHK放送技術研究所)

協 賛：電子情報通信学会、情報処理学会

参加費：正・賛助会員 3,000円、学生会員 1,000円、
非会員 5,000円(協賛学会員は正会員と同じ)

当日受付にてお支払いください。

●平成8年度春季研究発表会

日 程：5月15日(水)~16日(木) 研究発表会

5月17日(金) 見学会

場 所：小樽商科大学(小樽市緑3-5-21)

受 付：ご出席の方は、当日、大会受付で参加費
(正・賛助会員 6,000円、学生会員 2,000円、非会
員 10,000円)を添えて、ご登録ください。

実行委員長：若林信夫(小樽商科大学)

実行副委員長：遠藤 薫(小樽商科大学)

特別テーマ：「インフラとしてのOR」

ORは今や、現代社会のインフラストラクチャとして、ますます重要になっています。コンピュータネットワーク、金融、都市・交通計画、エネルギー供給、農林水産業等の基盤づくりに、ORは力を発揮してきました、今こそ、ORの存在理由を確認し、堅固なフレームワーク作りが必要と思われます。

今回の研究発表会ではこの点にスポットライトを当てて、特別セッションの中に各方面から幅広く、「インフラ」例を集めます。会員の皆さんにおかれましては、ORを一層発展させるためにこれらの発表に積極的に参加されるよう望みます。

特別講演：一般公開・入場無料

5月15日(水)

加藤修一(参議院議員、前小樽商科大学教授)

「地球環境問題とOR」

5月16日(木)

山田郁夫(三菱総合研究所常務取締役)

「大規模激甚災害に対する広域災害について」

特別セッション：

次の5つのテーマを特別セッションとして、討論が十分できるように、発表時間を10分増しとします。

●インターネット(または、コンピュータ通信)のOR

●金融のOR

●地理的最適化のOR

●エネルギー(または、電力)のOR

●ORの将来

懇親会：

日 時：5月15日(水)

会 場：小樽商科大学 大学会館1Fカフェテリア食堂

参加費：6,000円

大会受付にてお申し込みください。

見学会：

日 時：5月17日(金)

(9:30小樽駅前集合 17:00新千歳空港解散)
 見学場所：北海製罐(株)小樽工場、札幌市篠路清掃工場・ゴミ資源化工場、サッポロビール(株)北海道工場
 参加費：4,000円(昼食代・貸切バス代を含む)大会受付にてお支払いください。

定員：45名(締切前に定員になった場合、その時点で締め切る)

申し込み方法：昼食の予約の都合上、なるべく事前(5月10日頃まで)にFaxまたはE-mailで、小樽商科大学商学部社会情報学科山本充までお申し込みください。
 Fax.0134(27)5381

E-mail: mitasu@otaru-uc.ac.jp

なお、事前の申し込み時には、「見学会参加希望」と明記し、さらに氏名・所属・住所・電話番号などの連絡先を明記してください。複数名で申し込む場合には、代表者のみ氏名・所属・住所・電話番号などの連絡先を明記し、他は氏名のみで可。

申し込み締め切り：5月15日(水)

問合せ先：小樽商科大学

加地太一(社会情報学科)

Tel.0134(27)5390

E-mail: kaji@otaru-uc.ac.jp

今尚之(社会情報学科)

Tel.0134(27)5395

E-mail: kon@otaru-uc.ac.jp

宿泊と航空機の案内：

近畿日本ツーリスト(株)札幌支店がホテルと航空機の手配を取り扱っています。お早めに申込用紙を以下の住所、電話番号まで直接ご請求ください。ホテルのリスト等も申込用紙と共に送付されます。申し込みの締め切りは4月15日です。

〈宿泊料金〉(いずれも1泊朝食付き、税金・サービス料込み御1人様)

(1)小樽駅前近辺 S6,000円~13,800円、T5,500円~12,800円

(2)札幌駅前およびすすきの S7,000円~T10,000円、T6,500円 9,500円

〈宿泊期間〉平成8年5月14日(火)~5月16日(木)

〈航空機団体割引指定便〉(10名以上の申し込みのある場合に団体割引適用)

5/14 東京 08:00→札幌 09:30

5/14 東京 15:30→札幌 17:00

関西 14:30→札幌 16:30

5/15 東京 08:00→札幌 09:30

伊丹 08:30→札幌 10:30

5/16 札幌 19:30→東京 21:00

札幌 17:30→伊丹 19:30

5/17 札幌 12:00→東京 13:30

札幌 11:30→関西 13:30

5/17 札幌 19:00→東京 20:30

〈団体割引航空料金〉東京-札幌 片道 16,000円、
 関西および伊丹-札幌 片道 21,000円

〈問合せ・申込先〉

〒060 札幌市北区北7条西4丁目 新北海道ビル1F
 近畿日本ツーリスト(株) 札幌駅前支店

日本OR学会デスク 担当：信原、高橋(知)

Tel.011(716)5522, (716)5533 Fax.011(716)5503

〈空港から〉JR新千歳空港駅・小樽駅 快速・エアポート 直通 約1時間10分

〈札幌から〉JR札幌駅-小樽駅 快速 約35分

高速バス 札幌駅-(北大経由または円山経由)-小樽駅 約55分

〈小樽駅から〉バス 小樽商大行き 中央バス2番乗場より約10分、タクシー約5分あるいは徒歩約25分

●第36回シンポジウム

日時：11月6日(水) 13:00~17:00

会場：大阪工大摂南大学創立60周年記念館
 (大阪市旭区大宮5-16-1)

テーマ：「変革期の経営環境と意思決定」

実行委員長：山根敬三(摂南大学)

講師：①宇野 収(前 関西経済連合会会長、東洋紡績(株)相談役)

②松島 悠佐(前 陸上自衛隊中部方面総監、ダイキン工業(株)顧問)

③瀬尾芙巳子(摂南大学経営情報学部教授、京大大学名誉教授)

●平成8年度秋季研究発表会

日程：(1月号・2月号の案内で間違いがありました。)

11月7日(木)~8日(金) 研究発表会

11月5日(火) 見学会(13:30~17:00松下電工(株)と松下電器産業(株)技術館)

会場：大阪工大摂南大学創立60周年記念館
 (大阪市旭区大宮5-16-1)

実行委員長：栗山仙之助(摂南大学)

特別テーマ：「変革のOR」

発表申し込み締め切り：7月31日(水) 必着

・アブストラクト送付先：〒565 吹田市山田丘2の1
 大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻数理情報工学講座 石井博昭

Tel.06(879)7868(直通)

・申込書等請求先：〒113 文京区弥生2-4-16

学会センタービル3階 日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

研究発表は、申込書およびアブストラクトの提出をもって申し込み受付とします。

1996年度 春季研究発表会

特別テーマ：インフラとしてのOR

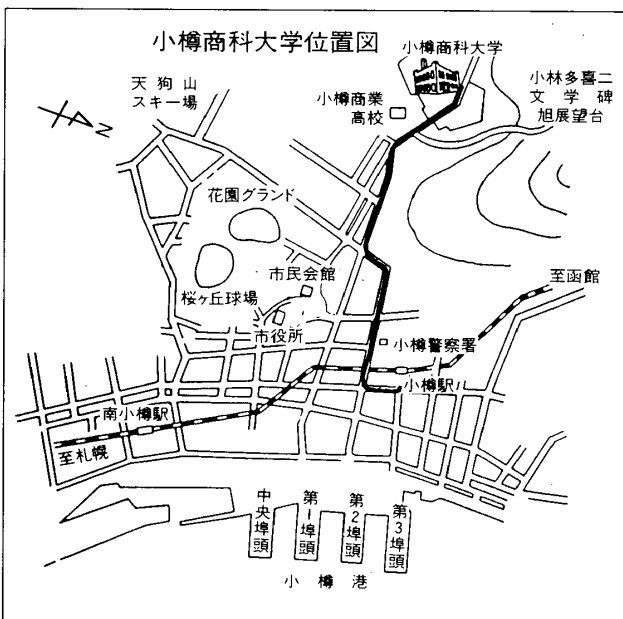
日時：1996年5月15日(水)、16日(木)
 会場：小樽商科大学 小樽市緑3-5-21
 Tel.0134(27)5200 (代表)

	月日	時間	会場
研究発表会	5月15日(水)	10:00~18:00	小樽商科大学
	5月16日(木)	9:30~16:10	
懇親会	5月15日(水)	18:30~	小樽商科大学 大会館1Fカ フェテリア食堂
見学会	5月17日(金)	9:30~17:00	北海製罐(株)小樽 工場、札幌市篠路 清掃工場・ゴミ資源 化工場、サッポロビ ール(株)北海道工場

参考資料 バス発車時刻表
 平成8年4月に改正されています。2月現在の時刻表
 を以下に示しますので、御参考までに御使い下さい。
 北海道中央バス・小樽商大線2番乗場
 小樽駅前と小樽商科大学の間は7、8分かかります。

平日	
時刻	小樽駅前 → 小樽商大前
6	
7	35 45 55
8	00 06 15 20 30 40
9	05 25 45
10	05 35
11	05 35
12	05 35
13	05 35
14	05 35 55
15	15 37 55
16	15 35 55
17	15 35
18	05 35
19	05 35
20	05 35
21	00 20
22	

平日	
時刻	小樽商大前 → 小樽駅前
6	
7	44 54
8	04 09 15 24 29 39 49
9	14 34 54
10	15 45
11	15 45
12	15 45
13	15 45
14	15 45
15	05 25 47
16	05 25 45
17	05 25 45
18	15 45
19	15 45
20	15 45
21	10 30
22	



参考資料 JR発車時刻表：
 平成8年3月に改正が予定されています。例年多少の変更があります。以下の表は原稿作成時点のものです。大体の
 目安としてご利用ください。札幌駅と小樽駅の間は快速で33分、各駅停車で55分程度かかります。

■小樽駅発車時刻表・平日 (参考資料)

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
快速 エアポート			02 27			00	00	00	00	00	00	00	00	00	02				
快速 マリンライナー			34	00 20	13 39	17 36	36	34	37	40	18 38	36	16	16					
各駅停車	42 23 39 48	04 41 39 48	11 48 53	12 29 44	05 31 46	06 26 45	12 28 48	10 25 47	12 28 47	12 31 47	06 28 49	13 28 45	06 33 46	06 30 50	19 39 49	09 34 53	10 27 57	20	03

■札幌駅発車時刻表・平日 (参考資料)

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
快速 マリンライナー					32 51	10 32 52	12 52	12 32	12 50	12 52	11 32 52	12 32 52	12 32 52	12 32 52	12 32	12 52			
各駅停車		05 50	12 32 47	06 19 41	03 20 40 57	20 42	00 25 40	00 20 45 59	22 40	00 25 41 58	21 43	00 20 44	00 20 40	02 20 42	00 21 45	00 21 42	05 25 55	18 40	05 35

エアポート 南小樽・小樽築港・手稲・札幌・新札幌・北広島・千歳・南千歳のみ停車します。
 マリンライナー 南小樽・小樽築港・手稲のみ停車します。

研究発表会スケジュール

5月15日(水)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場
10:00	交通	シミュレーション	組合せ最適化(1)	ORの実施	マルコフ決定過程	ファイナンス(1)
11:00						
11:10	特別セッション 都市と地域のOR(1)	特別セッション 電力のOR	組合せ最適化(2)	特別セッション 土木のOR	特別セッション マーケティングのOR	ファイナンス(2)
12:10						
12:40						
昼 休 み						
13:30	特 別 講 演 (A会場) 加藤 修一 「地球環境問題とOR」					
14:30						
14:40	ペーパーフェア(P, Q, R会場)					
15:40						
15:50	防災(1)	グラフ・ネットワーク(1)	組合せ最適化(3)	AHP(1)	信頼性(1)	データ解析(1)
16:50						
17:00	防災(2)	グラフ・ネットワーク(2)	組合せ最適化(4)	AHP(2)	信頼性(2)	データ解析(2)
18:00						
18:30	懇 親 会					

5月16日(木)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場
9:30	地域・政策	数理計画(1)	メタ戦略(1)	ゲーム理論(1)	待ち行列(1)	スケジューリング(1)
10:30						
10:40	特別セッション 都市と地域のOR(2)	数理計画(2)	メタ戦略(2)	ゲーム理論(2)	待ち行列(2)	スケジューリング(2)
11:40						
12:10						
昼 休 み						
12:50	特 別 講 演 (A会場) 山田 郁夫 「大規模激甚災害に対する広域防災について」					
13:50						
14:00	DEA(1)	数理計画(3)	メタ戦略(3)	ゲーム理論(3)	保全性	スケジューリング(3)
15:00						
15:10	DEA(2)	OR教育	ファジィ	物流	生産管理	スケジューリング(4)
16:10						

発表題目一覧

5月15日(水)

*印: 発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
10:00	交通	シミュレーション	組み合わせ最適化(1)
	1-A-1 内部交通による雑台型高層ビルの通路面積解析 *李 明哲, 伏見正則(東京大学) 1-A-2 一方通行システムを含む道路網を対象としたカットの探索 梶谷有三 (専修大学北海道短期大学) 1-A-3 交通事故と運転者の内面的事故原因についての一考察 *早坂至, 中野秀樹, 瀬戸正弘 (東北工業大学)	1-B-1 ベトリネットによる火災避難シミュレーションモデル *池原栄史, 椎塚久雄 (工学院大学) 1-B-2 システムダイナミクスによる自動車リサイクルシステムの分析 清水喬雄(通商産業省), 中村達生,*三田和哲(東京大学) 1-B-3 準モンテカルロ法による多次元数値積分の誤差評価 *諸星穂積, 伏見正則(東京大学)	1-C-1 巡回セールスマン問題の初期解 *西澤一友, 高橋磐郎 (日本大学), 栗田晶子 (住商情報システム(株)) 1-C-2 ナップザック共有問題の近似・厳密解法 二川真由美,*山田武夫, 片岡靖詞(防衛大学校) 1-C-3 0-1 ナップザック問題の重み点に対応する解の個数に関する一つの恒等式 林芳男(近畿大学)
11:00			
11:10	都市と地域のOR(1) オーガナイザ: 腰塚武志	電力のOR オーガナイザ: 長谷川淳	組合せ最適化(2)
	1-A-4 移動エネルギーからみた都市のプロポジション 腰塚武志(筑波大学) 1-A-5 高速交通機関の移動時間短縮効果について *有井良仁, 腰塚武志, 大澤義明 (筑波大学) 1-A-6 積み出し型交通路の適正配置モデル 栗田治(慶応義塾大学)	1-B-4 既設配電線の取り込みを考慮した電力供給経路決定手法 奈良宏一,*林泰弘, 山藤幸博 (茨城大学), 武藤昭一(東京電力(株)) 1-B-5 対話型多目的計画に基づく電力潮流最適化に関する基礎検討 *北裕幸, 小田祐士, 長谷川淳 (北海道大学) 1-B-6 電気事業における余剰電力買い取り交渉に関するゲーム論的考察 杉原英治,*北裕幸 (北海道大学), 西谷健一(北海道工業大学), 長谷川淳(北海道大学)	1-C-4 最少滞在時間問題(1)一定式化および制約の改善 *片岡靖詞(防衛大学校), 徳永康二(早稲田大学) 1-C-5 最少滞在時間問題(2)一分枝限定法の適用と3教員緩和 *徳永康二(早稲田大学), 片岡靖詞(防衛大学校), 今泉淳, 森戸晋(早稲田大学) 1-C-6 完全分散型分枝限定法並列化ツールの設計 *品野勇治(東京理科大学), 桧垣正浩(サリオンシステムズリサーチ), 原田賢一, 平林隆一 (東京理科大学)
12:10 12:40			
昼 休 み			
13:30	<特別講演> (A会場) S-1 地球環境問題とOR		加藤修一(参議院議員)
14:30	(つづく)		

発表題目一覧

5月15日(水)

*印: 発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
10:00	ORの実施	マルコフ決定過程	ファイナンス(1)
	<p>1-D-1 不完全情報に基づく性能推定技術の必要性と検討状況 斎藤洋 (NTT 通信網研究所)</p> <p>1-D-2 ノード集中を除去する地図変形表示法 巴波弘佳,*山田慈朗, 森川克子, 伊藤大雄 (NTT 通信網研究所)</p> <p>1-D-3 計測器のトレーサビリティ確保に向けたカルマンフィルターの適用 相沢健実 (秩父小野田(株))</p>	<p>1-E-1 不確実性の下での最適危機管理について 岩本誠一 (九州大学)</p> <p>1-E-2 選択を伴った不完備情報の確率的逐次割当問題 中井達 (九州大学)</p> <p>1-E-3 制約付き非定常マルコフ決定過程 飯田哲夫 (東京工業大学)</p>	<p>1-F-1 ラグランジュ緩和によるポートフォリオ・リバランス問題の解法 *井深浩, 葛山康典, 大野高裕 (早稲田大学)</p> <p>1-F-2 ヘッジ比率に上下限制約のついた国際分散投資モデル 今野浩,*鈴木賢一, 森尻宗毅 (東京工業大学)</p> <p>1-F-3 下方リスクモデルに対する数値実験による考察—MLPM モデルとMOLD モデルの比較— 枇々木規雄 (慶應義塾大学)</p>
11:00			
11:10	土木のOR オーガナイザ: 佐藤馨一	マーケティングのOR オーガナイザ: 木島正明	ファイナンス(2)
	<p>1-D-4 空港周辺住民の意識構造分析 *鈴木克典, 高野伸栄, 加賀屋誠一, 佐藤馨一 (北海道大学)</p> <p>1-D-5 AHP 算出ウェイトのクラスタリングに関する基礎的研究 *高野伸栄 (北海道大学), 今尚之 (小樽商科大学), 加賀屋誠一, 佐藤馨一 (北海道大学)</p> <p>1-D-6 近代土木遺産評価へのファジィ測度を用いた AHP の適用 *今尚之 (小樽商科大学), 高野伸栄, 佐藤馨一 (北海道大学)</p>	<p>1-E-4 クラスターと次元に基づく新製品の購入数の予測 *岡太彬訓, 宮内綾子, 渡辺玲里 (立教大学)</p> <p>1-E-5 顧客の脱落を考慮したトライアル・リピート・モデル *守口剛 ((財) 流通経済研究所), 熊倉広志 ((株) 東急エージェンシー), 寺崎竜男 (日本交通公社), 栗岩寿一 (サッポロビール(株))</p> <p>1-E-6 普及過程別セグメントを考慮した新商品シェア予測 *中川慶一郎 (NTT データ通信(株)), 里村卓也, 高田真里 ((株) 東芝), 真野和彦 (宇宙開発事業団), 角替由弥子 (東海大学)</p>	<p>1-F-4 多項モデルによる経路依存型オプションの価格の上・下界評価 大西匡光 (東北大学)</p> <p>1-F-5 Common Risk Factors of Tokyo Stock Exchange Firms 久保田敬一 (武蔵大学), *竹原均 (筑波大学)</p>
12:10 12:40			
昼 休 み			
13:30	<特別講演> (A会場) S-1 地球環境問題とOR		加藤修一 (参議院議員)
14:30	(つづく)		

学会だより

5月15日(水)

・印: 発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
14:40	パーパーフェア (P, Q, R会場) P-1 「ORソフトウェア」研究部会終了報告 P-2 研究部会「最適化モデル分析とその応用」終了報告 P-3 「動的計画法」研究部会終了報告 P-4 「ファイナンスのOR」研究部会報告 Q-1 ORリテラシーで何を教えるか 文科系学生のためのテキスト試案 ORリテラシー研究部会報告 Q-2 「高校生のためのOR研究部会」中間活動報告		
15:40	*八巻直一((株)システム計画研究所), 宮田雅智(青山学院女子短期大学) *岩本誠一, 川崎英文(九州大学) *小田中敏男(北海道情報大学), 蔵野正美(千葉大学) *古川浩一(東京工業大学), 枇々木規雄(慶応義塾大学) 高井英造(静岡大学) 若山邦紘(法政大学)		
15:50	防災(1) 1-A-7 遭難者の寿命を考慮した最適探索計画 *稲田健二(海上保安庁), 飯田耕司, 宝崎隆祐 (防衛大学校) 1-A-8 FTA法による海難分析 山地哲也(海上保安大学校) 1-A-9 消防隊編成システムにおける最近車 両選択方法の評価 *卯木輝彦, 猪狩英夫, 末竹則哲(沖電気工業(株))	グラフ・ネットワーク(1) 1-B-7 全節点・領域間がk-枝連結となる様 に領域を決定する問題 伊藤大雄(NTT通信網研究所) 1-B-8 再配置問題に対する線形時間移動手 順決定法 *巴波弘佳, 伊藤大雄 (NTT通信網研究所) 1-B-9 最少k部分木問題に対する分枝限定 法の適用 *星崎康広(早稲田大学), 片岡靖詞(防衛大学校), 今泉淳, 森戸晋(早稲田大学)	組合せ最適化(3) 1-C-7 学習グループ構成問題のヒューリス ティック解法 宮地功(岡山理科大学) 1-C-8 A New Approach for Weighted Constraint Satisfaction: Theoretical and Computational Results Hoong Chuin LAU (東京工業大学) 1-C-9 Double Horn Functions Eiter Thomas (Technische Universitat Wien), 茨木俊秀, *牧野和久 (京都大学)
16:50			
17:00	防災(2) 1-A-10 電磁現象による地震予知に関する一 考察 浅利英吉 (北海道文理科短期大学) 1-A-11 地震に伴う電磁気現象と地震予知 早川正士(電気通信大学) 1-A-12 阪神淡路大震災における新聞報道の 時間的推移と地域比較 *床井則友(山梨大学), 浅田賢一 ((株)千代田コンサルタント), 片谷教孝(山梨大学)	グラフ・ネットワーク(2) 1-B-10 有向グラフの根付き木を列挙するア ルゴリズム 宇野毅明(東京工業大学) 1-B-11 容量付きネットワークのスリム化に ついて *山口雅弘, 伊理正夫 (中央大学) 1-B-12 On Three Alternating Hamil- tonian Problems in Two-Edge- Colored Complete Graphs *樋口圭司(東京理科大学), 猿渡康文(防衛大学校), 沼田一道(東京理科大学)	組合せ最適化(4) 1-C-10 設置に費用を伴う施設の競合配置問題 *大角盛広(大阪府立大学), 塩出省吾(大阪大学), 寺岡義伸(大阪府立大学), 石井博昭(大阪大学) 1-C-11 連続的に資源を投入する場合の資源 配分問題 *一森哲男(大阪工業大学), 三道弘明(流通科学大学) 1-C-12 終端利益の存在する逐次配分問題 佐藤雅宏(筑波大学)
18:00			
18:30	懇親会		

5月15日(水)

・印: 発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
14:40	ペーパーフェア (P, Q, R会場)		
	Q-3 合意形成・政策研究部会終了報告 Q-4 「意思決定とOR」研究部会 中間報告 R-1 「離散系シミュレーション」研究部会報告 R-2 「情報ネットワークとその活用」研究グループ報告 R-3 「待ち行列」研究部会経過報告(7)		荻野正浩(中央大学), 片山隆仁(防衛庁) 菊田健作(富山大学), 中島恭一(富山県立大学) 中野一夫((株)構造計画研究所), 森戸晋(早稲田大学) 根本忠明(和光大学), 松井啓之(東京工業大学) 高橋幸雄(東京工業大学), 小林和朝(日本電気(株))
15:40			
15:50	AHP (1)	信頼性 (1)	データ解析 (1)
	1-D-7 AHP における評価基準の優先順位 の推定 西澤一友(日本大学) 1-D-8 AHP の簡便的適用に関するモデル 比較 *中西昌武(名古屋経済大学), 木下栄蔵(名城大学) 1-D-9 AHP における特定の個人ウエイト を重視したグループウエイトの算定 に関する研究 *佐藤信哉(旭川工業高校), 高野伸栄, 佐藤馨一 (北海道大学)	1-E-7 障害の大きさを考慮したソフトウェ アの信頼性実証試験に関する連続型 モデル *澤田清, 三道弘明 (流通科学大学) 1-E-8 2種類のソフトウェア故障発生原因 を考慮した不完全デバッグモデル *得能貢一, 山田茂(鳥取大学) 1-E-9 処理時間制約のあるフォールトレ ラントソフトウェアシステムの性能 評価モデルに関する考察 *木村光弘, 山田茂(鳥取大学)	1-F-6 OD 表の構成順序に着目した整数推 定法 *中山靖子, 米田清, 和田維作, 久保進((株)東芝) 1-F-7 不均一構造・不完全情報下での主成 分分析 *高橋磐郎, 大澤慶吉, 西澤一友, 王克義(日本大学) 1-F-8 ガロア体の因果関係解析への応用 *王克義, 高橋磐郎(日本大学)
16:50			
17:00	AHP (2)	信頼性 (2)	データ解析 (2)
	1-D-10 客観的な過去のデータと主観的な一 対比較結果から求める評価項目の重 要度算出法 —プロ野球における打撃 力と投手力の重要度決定の場合— *倉重賢治, 亀山嘉正 (岡山県立大学), 宮崎茂次(岡山大学) 1-D-11 感性工学を応用したVRキッチン設 計支援システム *今村佳世, 野村淳二 (松下電工(株)), 田村坦之(大阪大学), 長町三生(広島大学)	1-E-10 極限モーメント法の提案とその応用 阿部俊一(青山学院大学) 1-E-11 媒体障害の回復機構における古文書 コピー生成について *福本聡, 中川覃夫 (愛知工業大学) 1-E-12 Optimal Checkpoint Strategy Subject to System Failures Caused by a Renewal Process *土肥正(広島大学), 海生直人(広島修道大学), 尾崎俊治(広島大学)	1-F-9 施設配置モデルにおける地図投影法 の誤差 大澤義明(筑波大学) 1-F-10 マルチメディアサービスへのコンジョ イント分析の適用 *佐藤大輔 (NTT 通信網研究所), 上田徹(成蹊大学) 1-F-11 Examination of a Method to Re- trieve Similar Trademarks Re- flecting Human Subjectivity *神田太樹(文理情報短期大学), 長嶋秀世(工学院大学)
18:00			
18:30	懇親会		

学会だより

発表題目一覧

5月16日(木)

*印: 発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
9:30	<p>地域・政策</p> <p>2-A-1 地方自治体にみる地域情報化の評価モデル(4) *汝小剛(山梨大学), 堀内哲朗(三菱電機情報ネットワーク(株)), 片谷教孝(山梨大学)</p> <p>2-A-2 アンテナショップとOR 吉田肇((財)ふるさと情報センター)</p> <p>2-A-3 我が国鉄鋼企業における情報通信技術導入の業務効率化に関する分析 中村達生, 戸井朗人,*鈴木篤, 佐藤純一(東京大学), 清水喬雄(通商産業省)</p>	<p>数理計画(1)</p> <p>2-B-1 線形制約のもとでの凹2次関数の最小化問題 *男全勝行, 三竹吉伸, 若山邦紘(法政大学)</p> <p>2-B-2 変分不等式問題と等価な制約なし最適化問題 *山下信雄, 田地宏一, 福島雅夫(奈良先端科学技術大学院大学)</p> <p>2-B-3 経路選択に自由度のある容量制約付きハブ・スポークモデル *佐々木美裕, 福島雅夫(奈良先端科学技術大学院大学)</p>	<p>メタ戦略(1)</p> <p>2-C-1 メタ戦略のロバスト性について *柳浦睦憲, 茨木俊秀(京都大学)</p> <p>2-C-2 シミュレーテッド・アニーリングにおける初期温度の新チューニング法 *白井裕, 松本直文(足利工業大学)</p> <p>2-C-3 Simulated Annealing 的手法を取り入れた無閉路有向グラフの最適系列分解問題の解法 加地太一(小樽商科大学)</p>
10:30			
10:40	<p>都市と地域のOR(2) オーガナイザ: 腰塚武志</p> <p>2-A-4 交通需要低減の視点から見た業務立地 鈴木勉(電力中央研究所)</p> <p>2-A-5 地域間の消費税競争モデル 大澤義明(筑波大学)</p> <p>2-A-6 居住と通路の配分を考慮した最適なビル規模 田口東(中央大学)</p>	<p>数理計画(2)</p> <p>2-B-4 An affine scaling algorithm for semidefinite programming 村松正和(上智大学)</p> <p>2-B-5 最大カット問題に対する Semidefinite Programming 緩和 *古屋 貴行(東京理科大学), 藤江哲也, 藤沢克樹, 小島政和(東京工業大学)</p> <p>2-B-6 Convergence Analysis of Some Interior-Point Methods for the Monotone Semidefinite Linear Complementarity Problem 小島政和(東京工業大学), 信太正之(神奈川大学), *進藤晋(防衛大学校)</p> <p>2-B-7 斜張橋架設精度管理への多目的計画法の応用 中山弘隆(甲南大学), 金重和義, 竹本信司, *和多田康男(宇部興産(株))</p>	<p>メタ戦略(2)</p> <p>2-C-4 遺伝的アルゴリズムの巡回セールスマン問題への応用 *八島高志郎, 若山邦紘(法政大学)</p> <p>2-C-5 遺伝的アルゴリズムによる巡回セールスマン問題のマルコフ解析 *長崎勇治, 若山邦紘(法政大学)</p> <p>2-C-6 2目的資源分割問題に対する遺伝的アルゴリズムの適用 *河崎利信, 森田浩, 藤井進(神戸大学)</p>
11:40 12:10			
昼 休 み			
12:50	<p><特別講演> (A会場) S-2 大規模激甚災害に対する広域防災について</p>		<p>山田郁夫((株)三菱総合研究所)</p>
13:50	<p>(つづく)</p>		

学会だより

発表題目一覧

5月16日(木)

*印: 発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
9:30	ゲーム理論 (1)	待ち行列 (1)	スケジューリング (1)
	2-D-1 nonatomic player と atomic player がいるときの非協力ゲーム 大西匡光 (東北大学), *渡辺隆裕 (東京工業大学) 2-D-2 Dual Axiomatization of the Core 船木由喜彦 (東洋大学) 2-D-3 安定で協調的操作不可能、極小な社会的選好対応の値のもつ性質について *水谷昌義 (東京経済大学), 佐藤祐司 (松阪大学)	2-E-1 Mean Queue Lengths of the Alternating Traffic with Starting Delays 鈴木誠道 (上智大学), *山下英明 (駒澤大学) 2-E-2 一車線区間の交互交通のモデル化と解析 *近藤岳, 鶴澤周平, 鈴木誠道 (上智大学) 2-E-3 資源要求のある待ち行列モデル — 2つの資源がある場合 *高橋幸雄, 梅原元 (東京工業大学), 木下俊之 ((株) 日立製作所)	2-F-1 Airline Seat Management with Multiple Flight-legs 游 勝勝 (筑波大学) 2-F-2 ナース・スケジューリング問題における夜勤割り当て問題 *池上教子, 丹羽明, 大倉元宏 (成蹊大学) 2-F-3 幹線配送計画問題 (非分割財の場合) *毛利裕昭 ((株) 三菱総合研究所), 久保幹雄 (東京商船大学), 森雅夫 (東京工業大学)
10:30			
10:40	ゲーム理論 (2)	待ち行列 (2)	スケジューリング (2)
	2-D-4 非対称 Shapley-Owen 指数とその応用 小野理恵 (東北大学) 2-D-5 A Cost Allocation Game Related to a Search Problem 菊田健作 (富山大学) 2-D-6 探索経路所与の移動目標探索に関するゲーム問題 *宝崎隆祐, 飯田耕司 (防衛大学校)	2-E-4 Geometric Decay of the Steady-State Distribution in Two-Stage Tandem Queues 高橋幸雄, 牧本直樹, *藤本衡 (東京工業大学) 2-E-5 マルコフ変調ランダムウォークの極限分布の漸近的性質 *牧本直樹, 加藤憲一 (東京工業大学) 2-E-6 組み立て型待ち行列システムの近似解析 *宋 宇, 上田文人 (福岡工業大学)	2-F-4 リードタイムの異なる供給元を考慮した在庫政策 *安達康生, 岡本充弘 (大阪工業大学), 栗山仙之助 (摂南大学), 能勢豊一 (大阪工業大学) 2-F-5 在庫ペナルティがかかる分岐型ジョブ並列機械 2 工程フローショップスケジューリングに対するアプローチ 山越康裕, *今泉淳, 森戸晋 (早稲田大学) 2-F-6 フロー・ショップ問題を対象としたスケジューリング・ルールの帰納的獲得 *諏訪晴彦, 森田浩, 藤井進 (神戸大学)
11:40			
昼 休 み			
12:50	<特別講演> (A会場) S-2 大規模激甚災害に対する広域防災について		山田郁夫 ((株) 三菱総合研究所)
13:50	(つづく)		

学会だより

5月16日(木)

*印: 発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
14:00	DEA (1)	数理計画 (3)	メタ戦略 (3)
	<p>2-A-7 A Simple Characterization of Returns to Scale in DEA 刀根薫 (埼玉大学)</p> <p>2-A-8 DEA における質的変数の扱い方 *上田徹, 西田英之 (成蹊大学)</p> <p>2-A-9 国鉄の分割・民営化とその企業効率変化: DEA 時系列分析による実証研究 末吉俊幸, 町田浩,*杉山学, 新井健, 山田善靖 (東京理科大学)</p>	<p>2-B-8 単調な半正定値線形相補性問題に対する内点法における探索方向の存在に関する一考察 *信太正之 (神奈川大学), 進藤晋 (防衛大学校), 小島政和 (東京工業大学)</p> <p>2-B-9 経営情報システム設計に関する研究 (第1報) *能勢豊一 (大阪工業大学), 栗山仙之助 (摂南大学), 中島健一 (大阪工業大学)</p> <p>2-B-10 経営情報システム設計に関する研究 定量的事務分析アプローチ (第2報) *中島健一, 中林伸充, 能勢豊一 (大阪工業大学), 栗山仙之助 (摂南大学)</p>	<p>2-C-7 遺伝的アルゴリズムによる区間計画 *玄光男, 井田憲一 (足利工業大学), 程潤偉 (宇都宮大学)</p> <p>2-C-8 輸送制約付き施設配置問題に対する遺伝的アルゴリズムの適用—問題特性を考慮したコーディング方法, 及び分割統治法の適用— *塚崎勇人 (東京理科大学), 桧垣正浩 (サリオシステムズリサーチ), 沼田一道 (東京理科大学)</p> <p>2-C-9 階層型ニューラルネットワークに対する逐次射影法の改良 *巽啓司, 福島雅夫 (奈良先端科学技術大学院大学)</p>
15:00			
15:10	DEA (2)	OR教育	ファジィ
	<p>2-A-10 DEA の効率性の階層的考察 (官公庁の警備・救難業務を題材にして) 佐藤潤子 (大阪大学・海上保安庁)</p> <p>2-A-11 繰り返しデータによる確率的DEA *森田浩, 岩永浩史, 藤井進 (神戸大学)</p> <p>2-A-12 フロントニアからの一次距離の最小化を考慮したDEAモデル 伊藤竜一,*生田目崇, 山口俊和 (東京理科大学)</p>	<p>2-B-11 文科系学部におけるOR教育 大村雄史 (近畿大学)</p> <p>2-B-12 表計算ソフトを用いたビジネスゲームづくりの指導 黒沢敏朗 (摂南大学)</p>	<p>2-C-10 ニューラルネットワークを用いたソフトウェアのテスト進捗度予測に関する考察 *篠原康秀, 今西学, 土肥正, 尾崎俊治 (広島大学)</p> <p>2-C-11 需要点の位置がファジィである施設配置問題 *松富達夫 (近畿大学), 石井博昭 (大阪大学)</p> <p>2-C-12 ファジィ最短経路問題の2目的定式化 *伊藤健, 石井博昭 (大阪大学)</p>
16:10			

5月16日(木)

・印: 発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
14:00	<p>ゲーム理論 (3)</p> <p>2-D-7 Auction Bidding and Evolutionary Stable Strategies 坂口実 (名古屋商科大学)</p> <p>2-D-8 Poker-like Card Games 坂口実 (名古屋商科大学)</p> <p>2-D-9 価値が時間に関係する縄張りのゲーム *寺岡義伸, 呉妮 (大阪府立大学), 山田康吉 (三菱重工業 (株))</p>	<p>保全性</p> <p>2-E-7 An Optimal Selection and Replacement Policy Related to the Duration Problem 玉置光司 (愛知大学)</p> <p>2-E-8 到着率が減少する待ち行列システムの最適保全政策 *小柳淳二, 河合一 (鳥取大学)</p> <p>2-E-9 2種の不完全修理を有する信頼性システムの平均最適な保全政策 瀬川良之 (京都学園大学), *大西匡光 (東北大学)</p>	<p>スケジューリング (3)</p> <p>2-F-7 単一機械総納期遅れ時間最小化スケジューリングの最適解法 平川保博 (東京理科大学)</p> <p>2-F-8 Lagrange 緩和法を用いた最適化スケジューリングにおける heuristics のアプローチ *京屋祐二 ((株) 東芝), Ling Gou, Peter B. Luh, Yuanhui Zhang (University of Connecticut), 加納敏行, 長谷川哲夫, 米田清 ((株) 東芝)</p> <p>2-F-9 中間工程の順序計画固定型一貫スケジューリングシステム *今井太一, 中川義之, 野平正樹, 田村明 (住友金属工業 (株)), 山口知子 (住友金属システム開発 (株))</p>
15:00			
15:10	<p>物流</p> <p>2-D-10 格子型ネットワークにおける相互供給・物流システムに関する研究 *久保貞也 (大阪工業大学), 栗山山之助 (摂南大学), 能勢豊一 (大阪工業大学)</p> <p>2-D-11 セメント原料計画への混合整数計画法の適用 *河野高洋, 香月毅, 相沢健実 (秩父小野田 (株))</p> <p>2-D-12 輸送計画業務における分散型データベースの適正配置について一考察 近藤幹雄, 飯田治, *中村達也 (西日本旅客鉄道 (株))</p>	<p>生産管理</p> <p>2-E-10 測定器の故障診断システムの最適設計 松山久義 (九州大学)</p> <p>2-E-11 プリント基板実装における不良対策支援方式—電子回路機器実装システムの研究 (第3報)— *小林秀明, 野本多津 ((株) 日立製作所)</p> <p>2-E-12 プリント板実装における不良発生傾向抽出方式—電子回路機器実装システムの研究 (第4報)— *野本多津, 小林秀明 ((株) 日立製作所)</p>	<p>スケジューリング (4)</p> <p>2-F-10 月次配油計画とその解法 *榎本卓司, 中塚誠次, 伊藤慎司 (CCS), 松井知己 (東京大学)</p> <p>2-F-11 石油精製業におけるスケジューリング問題への適用—対話型計画作成システムのモデル化について— 池ノ上晋, 高瀬裕司 (富士石油 (株)), 中澤吉明, *松本隆 (日科技研)</p> <p>2-F-12 原油タンクスケジューリングへの適用—数値計画法による定式化(2)— *草刈君子, 宮崎知明 (富士通 (株)), 高瀬裕司, 池ノ上晋 (富士石油 (株))</p>
16:10			

学会だより

●研究部会・グループ開催案内

〔COMのための生産計画・スケジューリング〕

日時：4月19日(金) 18:30~20:30
 場所：青山学院大学 青山キャンパス総研ビル
 テーマと講師：「サイクリックスケジューリング問題」
 由良憲二 (電気通信大学)

多品種のジョブを繰り返して処理するシステムのスケジューリング問題を取り上げ、ジョブをどのような順序で繰り返して処理すれば総処理時間が近似的に最小化されるかについて紹介する。

問合せ先：東京大学 先端科学技術研究センター
 西岡靖之
 Tel.03(3481)4486
 E-mail:nishioka@ai.rcast.u-tokyo.ac.jp

〔評価のOR〕

日時：4月20日(土) 13:30~16:00
 場所：青山学院大学総研ビル7階 第13会議室
 テーマと講師：埼玉大学 刀根 薫教授による下記のチュートリアル講演を予定しています。これまで参加されたことのない方も是非、これを機会に参加されますようご案内いたします。

「DEA 入門」

企業体のパフォーマンスを評価し併せて改善案を提案する手法DEA (Data Envelopment Analysis) について、基本的な考え方から応用にいたるまで分かりやすく解説します。また、他の手法との関連や最近の話題についてもふれる予定です。

問合せ先：成蹊大学 上田 徹
 Tel.0422(37)3793 Fax.0422(37)3869
 E-mail:ueda@is.seikei.ac.jp

●平成8年度会費納入のお願い (事務局)

平成8年度の会費請求書をすでにお送りいたしましたので、ご送金くださるようお願いいたします。なお、7年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成8年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

〔待ち行列〕

日時：4月20日(土) 14:00~16:30
 場所：東京工業大学 本館1-94号室
 テーマと講師：(1)「UC Berkeley滞滞在記：新しい自己
 関連のある到着過程モデルの研究」
 豊泉 洋 (NTT)
 (2)「Correlated Input Queues Arising out of High
 Speed Communication Networks」
 町原文明, 高橋敬隆 (NTT), 高橋幸雄 (東工大)
 問合せ先：NTT通信網研究所 小沢利久
 Tel.0422(59)4593 Fax.0422(59)2829
 E-mail:toshi@hashi.ntt.jp

〔組合せ最適化〕

日時：4月20日(土) 13:00~
 場所：早稲田大学理工学部 51号館3F
 テーマ：「いろいろな大学の卒論を聞いてみよう」
 問合せ先：防衛大学校 情報工学科 片岡靖詞
 Tel.0468(41)3810 内2270
 E-mail:seiji@cc.nda.ac.jp

〔数理計画法〕

日時：4月27日(土) 14:00~17:00
 場所：統計数理研究所 3階セミナー室
 テーマと講師：
 (1)「高品質最適化計算」(キーワード：Adjoint System, 自動微分, 感度解析, 最適化, 高品質計算)
 伊理正夫 (中央大学)
 (2)「相補性問題に対する内点法と非内点法」(キーワード：相補性問題, 内点法, 連続的算法, 非内点法)
 吉瀬章子 (筑波大学)
 問合せ先：統計数理研究所 予測制御研究系 水野真治
 Tel.03(5421)8755 Fax.03(5421)8796
 E-mail:mizuno@ism.ac.jp
 統計数理研究所 予測制御研究系 伊藤 聡
 Tel.03(5421)8756 Fax.03(5421)8796
 E-mail:sito@ism.ac.jp

〔電力OR〕

・第2回
 日時：5月17日 14:30~17:00
 場所：北海道電力(株) 本社会議室 (詳細は次号に掲載)

テーマ：「需要予測のOR」

平成8年1月より発足した研究グループの第2回研究会として、電力需要予測に用いられる各種手法および適用事例を中心に紹介する。

問合せ先：電中研 大屋

Tel.03(3480)2111 E-mail: ohya@denken.or.jp

なお、17日午後から開催される研究発表会見学会の途中から開催という形になります。また終了後、懇親会を予定しております。

●会合案内

〔第157回新宿OR研究会〕

日時：4月16日(火) 12:00~13:30

場所：レストラン・レダ(新宿センタービル53F)

テーマ：「私の歩んだORの道」

講師：森口繁一(OR学会名誉会員・東京大学名誉教授)

参加費：3,000円

●平成9年度春季研究発表会

日時：平成9年4月2日(水)~3日(木)研究発表会
4月4日(金) 見学会

会場：九州大学文系講義棟

(福岡市東区箱崎6-10-1)

実行委員長：松山久義(九州大学)

●第38回シンポジウム

日時：平成9年秋

実行委員長：川島幸之助(日本電信電話)

テーマ：「コミュニケーション・ルネッサンスと社会」

●平成9年度秋季研究発表会

日程：平成9年秋 研究発表会・見学会

●会員名簿刊行のお知らせ 日本OR学会

1995年版の会員名簿(会員限定)が発刊されました。E-mail addressも登録され、3年ぶりの改定版です。購入ご希望の会員の方には、1冊4,000円でおわけいたします。FAXもしくはハガキでお申込みください。(消費税は非課税です)

氏名・会員番号・代金支払方法(振込でお願いいたしますが、請求書等必要の有無など)をご記入ください。

実行委員長：棚橋啓世(東京経済大学)

実行副委員長：川島幸之助(日本電信電話)

特別テーマ：「コミュニケーション・ルネッサンスと社会」

●IFORS96視察団へのお誘い(国際委員会)

1996年はIFORSの年です。今回はカナダのバンクーバーで7月8日から12日の間に開催されます。OR学会ではIFORS参加とシアトル近郊の企業見学をセットにしたツアーを企画しております。毎回15名から25名の代表団を派遣しておりますが、皆さんの参加をお待ちしています。この記事がOR誌に掲載されるころにはもっと確かな情報が提供できると思いますが、とりあえずは以下のような素案で現地と交渉中です。

期間：1996年6月30日~7月14日

日程概略：6月30日 シアトルへ向け出発

7月1日~4日 シアトルで企業訪問

ボーイング社(CALSにからめて)、ウェアハウザー社(木材会社で古くからORで有名)、マイクロソフト社

7月5日~6日 バンフ観光

7月7日~13日 IFORS参加

7月13日 成田へ 14日着

参加費用(予定)：890,000円(企業参加)
640,000円(個人参加)

IFORS登録料(まだ知らされておられません)は別途かかります。

ご質問のある方は若山邦紘(国際委員会、法政大学)までお尋ねください。

Fax.0423(87)6348

E-mail:waka@waka.is.hosei.ac.jp

●国際会議案内

• Second International Symposium on Operations Research with its Applications (ISORA'96)

主催：Asian-Pacific Operations Research Center within APORS and Chinese Academy of Sciences

日時：1996年12月11日~13日

場所：桂林(中国)

アブストラクト提出締切：6月1日

採否の通知期限：8月1日

本論文提出締切：9月1日

問合せ先：当学会の電子掲示板(メイリングリスト)

or-reg@ise.chuo-u.ac.jpで詳細がご覧になれます。ここ宛に、下記の2行の本文からなるメールを送れば、詳細がメールで送り返されます。

send:

meeting/ISORA96

●他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・第32回人工知能セミナー「事例ベースが開く新しいAIの世界」(協賛)

主催：人工知能学会

日時：4月9日(火) 9:30~17:00

場所：機械振興会館 地下3F 研修-1号室(東京都港区)

問合せ・申込先：〒162 新宿区津久戸町4-7 OSビル

402号室 人工知能学会事務局

Tel.03(5261)3401 Fax.03(5261)3402

・精密工学会第222回講習会「インターネット—製造業でいかに活用するか?」(協賛)

主催：精密工学会

日時：4月12日(金) 9:30~16:50

場所：中央大学駿河台記念館670号室(東京都千代田区)

申込締切：4月5日(金)

問合せ・申込先：〒169 新宿区百人町2-22-17

セラミックビル内 精密工学会

Tel.03(3362)1979 Fax.03(3367)0994

・第12回ファジイシステムシンポジウム

主催：日本ファジイ学会

日時：6月4日(火)~6月7日(金)

場所：早稲田大学国際会議場(東京都新宿区)

問合せ先：〒215 川崎市麻生区王禅寺1099 日立製作

所 システム開発研究所 田野俊一

Tel.044(966)9111 内3551 Fax.044(966)1796

E-mail:tano@sdl.hitachi.co.jp

●北海道支部電話番号変更のお知らせ

小樽商科大学 商学部 社会情報学科 今尚之研究室 室内

Tel.0134(27)5395(直通)

経営革新シリーズ・第5巻

経営革新とオフィス環境

中田重光・鯨井康志・加藤達夫・萩原直朗・和光正司共著

A5判・232頁・定価2,800円(税込)¥380円

本書は、現代のオフィス環境がいかに技術指向であり、機械主体のオフィス環境になっているかを指摘しつつ、人間が主役であるべきオフィスの姿を、各社の事例を交えながら論述する。

[主要目次] 1. オフィスとオフィスコンセプト 2. オフィスの構築 3. ファシリティマネジメント 4. 事例研究：21世紀のオフィス/働き方をめざして

実践ソフトウェア開発工学シリーズ・第14巻

ソフトウェア製品生産のためのQCDS

菅野文友著

A5判・216頁・定価2,800円(税込)¥380円

ネオダム時代のソフトウェア産業の在り方として、Q、C、D、Sに着目した基本的定石によるソフトウェア産業としての基盤を固めることの重要性を述べている。

[主要目次] I. ソフトウェア製品における設計・開発の考え方 II. 設計品質向上のための諸原則 III. 質疑応答ア・ラ・カルト


ファイナンス工学入門 第三部：数値計算法

木島正明・長山いづみ・近江義行著

A5判・248頁・定価4,300円(税込)¥380円

本書の目的は計算機による価格評価及びヘッジ方法などを説明することにある。

[主要目次] 価格付け理論の概説/数値計算の基礎/偏微分方程式の解法/格子モデル/モンテカルロ法他

 日科技連出版社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2

電話03(5379)1238 FAX03(3356)3419〔図書目録送呈〕